企業・団体名（株式会社アスク）

（様式第3号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	□ □	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・1984年創業時より、女性を積極的に雇用しており、性別や年齢に関係なく、教育・昇進・福利厚生などあらゆる雇用条件で差別しない体制を構築している・2020年1月より、女性を社長に登用。・【予定】差別しない体制を持続させるための研修の実施や相談窓口の設置などに、経営トップが積極的に関与する。2023年1月31日設定					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		□	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・【予定】ハラスメント禁止を明文化し、社内教育を推進する					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		□ □	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・36協定等の内容を全社員に説明すると共に、常に残業時間を意識できるよう、出勤簿等で工夫している・1日の残業時間の上限目標を設定し、長時間労働の是正に取り組んでいる・就労時間内での仕事の効率化を図るため、業務の分業化と各人の時間管理を行なっている・多様な働き方を許容する、柔軟な勤務体制対応を行っており、各人の事業等に応じた業務効率化に取り組んでいる								8.5 8.8									
4		□	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・【予定】現在、外国人労働者からの求職がないため具体的に取り組んでいないが、今後外国人労働者を雇用することも想定し、それに応じた労働環境の整備等の準備をする				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		□ □ □	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・(一社)サキベジ推進協議会の事務局として、食・運動・メンタルヘルス等の専門家をコーディネイトして組み立てた健康経営の具体的プログラム「サキベジ健康プログラム」を自社から実践。定期的に勉強会を実施し、従業員が習得している。・プログラムの一環として、毎朝、全社員で、「サキベジ体操」や「デュアルタスク運動（脳の活性化）」を行ない健康で安全に集中して業務に取り掛かれるようにしている・除菌空気清浄機を設置し、ウィルス感染予防の労働環境整備をしている　2023年1月31日設定			3					8									
6		□ □	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・ストレスで堅くなりがちな心と体をリラックスさせるため、毎朝、社員全員でのストレッチングやペアを組んでのデュアルタスク運動を実践。同時に社内コミュニケーションを円滑にさせ、ストレスの軽減化を図っている・毎年夏に、野沢温泉ブナの森自然観察ツアーを実施し、大自然の中でのメンタルヘルス向上を図っている・【予定】メンタルヘルスの専門家によるストレス回避のための研修会を実施する　2023年1月31日設定			3														
7		□ □	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・フルタイム就労が困難な子育て中の女性や定年退職した高齢者、並びに障がい者施設への業務委託を積極的に行なっている・定年退職後の高齢者を対象とした「365日大学」事業を2020年よりスタート。各人が講師であり生徒である活躍の場の提供。【予定】仕事として地域社会に貢献できる機会創出も図る。2023年1月31日設定					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3								
8		□	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・基本的スキルをつけるためOJTによる研修を実施している・自己啓発・能力開発のための勉強会への参加を推奨し、参加費の会社補助も行っている				4	5.5			8	9								
9		□	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	・正社員、パート社員の業務範囲や責任の所在の違いを明確にしており、その上で同一労働同一賃金等の公正な待遇を行っている					5.5			8.5		10.2 10.3							

10		□ □	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・健康経営優良法人認定（経済産業省）を取得している・都道府県協会けんぽ「健康チャレンジ宣言」を行なっている・（一社）サキベジ推進協議会「サキベジ健康企業宣言」を行ない、従業員各自が、「1．先に野菜を食べる 2．一日7000歩以上歩く 3．仲間とコミュニケーションを取る」のサキベジ3原則の実践を推進し、会社ぐるみでの健康づくりに取り組んでいる・信州ACE(エース)プロジェクト「働き盛り世代の『健康づくり』チャレンジ大作戦」がスタートした年の2018年より毎年従業員6チーム18名が参加している。			3					8									
11	環境	□	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・ミスコピー用紙は可能な限り再利用している。また分別を徹底し、ごみを減らし、資源として排出できるように取り組んでいる。2023年1月31日設定										11.6	12.4		14.1			
12		□	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・【予定】省エネ診断、算定ツール等を利用して、排出量の把握に努める						7.3						13				
13		□ □	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・社用車は全て省エネ仕様CO2削減車を使用・平成19年度「ながのエコサークル」シルバーランクに認定された時を機に、その基準に沿った省エネ施策を実施している・環境にやさしいエコマーク商品などを積極的に導入						7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・法令等で規制されている有害化学物質を使用していない印刷会社と取引をしている			3.9			6.3					11.6	12.4					
15		□	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・【予定】事業全体における生物多様性への依存と影響を把握し、負の影響を削減するための計画を策定する						6.6								15		
16		□	【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・古紙回収業者と提携しており、毎月古紙や段ボール等を回収してもらい、リサイクル促進をしている・プラスチックごみの分別を徹底して行なうと同時に、使い捨てプラスチックの使用削減を推進している											12.5		14.1			
17		□ □	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	・【予定】水資源の使用状況を把握し、使用料削減等の計画を策定する						6.4 6.6										

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18		□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・平成19年度「ながのエコ・サークル」シルバーランクに認定されている			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	【予定】HP等で環境情報を公開する												12.6					
20		☑	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ								7.2						13				
21		□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・自社の封筒は、FSC森林認証製品を積極的に使用している・非合法材を使用していない資材を仕入れている												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・汚職・贈収賄禁止等の行動規範を、社員に浸透させている・【予定】行動規範を明文化し、持続性を持たせる																16 16.5	
23		□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・不正競争行為に関与しない行動規範を、社員に浸透をさせている・【予定】行動規範を明文化し、持続性を持たせる																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・商標の取得・管理をしている・著作権管理をしている								8.2 8.3	9								
25		□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・個人情報及び特定個人情報の管理について、就業規則及び規程に定めており、その情報管理とルールは、従業員全員に遵守することを徹底している																16	
26		☑	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																	16	
27		□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	・事業パートナーと人権侵害の防止、倫理面での適切な対応について認識を共有し取り組んでいる					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス	□ □	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	イベント開催時には、安全に遂行されることを第一優先とし、想定されるリスクは回避する仕組みを構築している・自社発行媒体「月刊ほっとパル」等は、口に入れても安全な自然由来のインクを使用している			3.9									12.4					
29		□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・自社発行媒体「月刊ほっとパル」等の広告掲載企業に関しては、会社独自の規範を設け、読者がその広告を見て消費することにより生活が悪化すると想定される企業の広告掲載は行わないことを徹底している									9								
30		□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・FSC森林認証紙と石油を使わないノンVOCインクを使用して印刷した自社媒体を発行している						6						12	13	14	15		
31		□ □ □	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	・若い世代の社会保障負担費削減、明るい未来を次世代に引き継ぐために健康長寿社会実現を目指し、自社発行媒体「月刊ほっとパル」を通して健康づくりの啓蒙活動を展開している。・「365日大学」の活動を紹介し、退職後シニアのみなさんへ、学びや運動などへの参加者を増やすための取り組みを行っている。・働き盛り世代の健康づくり普及を加速化させるため、健康経営の具体的な実践プログラム『サキベジ??健康プログラム』を開発し推進している。2023年1月31日設定	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・自社発行媒体が地域住民にとって有益な情報提供をできているか、毎月読者の意見を吸い上げて分析をしている。またデジタル化に向けて、常識にとらわれない企画立案など、常に改善に努めている。2023年1月31日設定				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・2019年より野沢温泉村の「ブナの森100年構想」に参画し、次世代の未来のためにブナの森を蘇らせると同時に今の大人たちが自然保護に関心を持つために、毎年8月、自社発行媒体読者に参加を募り「ブナの森自然観察とブナの苗木の植樹活動」を継続している・地域住民の健康長寿・健康増進を願い、一般社団法人サキベジ推進協議会の事務局として、生活習慣予防・認知症予防のため、「1. 先に野菜を食べる　2. 一日7000歩以上歩く　3. 仲間とコミュニケーションを取る」のサキベジ3原則の啓蒙活動を推進。自社発行媒体による健康情報を提供・健康づくり県民運動「信州ACE(エース)プロジェクト」普及発信事業(2019年度)を長野県より受託し、県からの予算とは別に、自社媒体でのPR活動を展開している・2020年には「アスク寺小屋文化講座」として「姜尚中」さんの文化講演会をハイブリットで開催。地域住民が気軽に参加できる、質の高い学び場を提供した。2023年1月31日設定				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・イベント景品等を用意する際は、地元企業の製品を優先的に利用している・地元農家と提携し、定期的に農産物を届けてもらい、従業員が地元野菜を購入できる機会を提供している								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営理念を明文化し、毎朝礼で社員は唱和し、各自の行動指針としている								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・法令順守(コンプライアンス)が自社発行物や事業活動にとって最も重要性が高いことを全社員に説明し、特に自社発行物に関しては毎月その内容が法令順守しているかを、担当責任者がチェックしている																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・担当者を中心に、社内で共有の意識を持てるように毎日のミーティングで共有している。2023年1月31日設定																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・自社事業に関して、生活者へのグループインタビューや、LINEを利用したアンケート調査を実施する等、直接意見を聞いて適切な対応を進めている。 2023年1月31日設定																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・過去38年の事業経験により、想定されるリスク項目を特定し、明文化して、従事者一人ひとりに説明・確認した上で取り組んでいる																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	・当社の経営理念の一つ「地域社会に貢献できる企業を目指す」に基づき、自社発行媒体やイベント開催、健康長寿を目指す活動等を通して、地域企業として、地域社会に果たすべき責任を常に意識して、事業活動に取り組んでいる　2023年1月31日設定																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	大雨・大雪等で交通マヒが予想される時は、リモート出社にする、職務憲章を明確にし、担当者がいなくても職務が回るように明文化する。 2023年1月31日設定									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・創業者から次期社長に事業継承をした・事業がさらに効率よく発展するための策を構築しており、それに基づき進めている　2023年1月31日設定								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
　また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
　（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）